

# きんもくせい

**シリーズ** がんと闘う 住みなれたこの場所で  
話すことは、放すこと あなたに寄り添うがん診療



▲緩和ケア認定看護師の櫻井看護師

「どちらの方が似合うかな？」そんな声が聞こえてきそうな、がん相談支援センターの風景。

がんになると多くの不安やつらさを経験すると言われています。その気持ちはあなただけではありません。がんになった方やそのご家族、友人、誰もが感じる自然なことです。どうか一人で悩まないでください。

「話すことは、放すこと。」話をするすることで、不安な気持ちから自分の心を少しでも解き放ちましょう。

シリーズ「がんと闘う 住みなれたこの場所で」第4弾は、体のつらさ、心のつらさなど、いろいろなつらい気持ちに寄り添う医療者を特集します。

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。



〒436-8555  
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555



スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください

# がんと闘う住みなれたこの場所で

企業長兼院長

宮地 みやち

正彦 まさひこ



## 「通いやすい病院」という選択

もし、自分や家族ががんと診断されたら、皆さんはどんな病院で治療することをイメージしますか？浜松や静岡など、都市部の大きな病院へ行くことを想像する方もいるかもしれませんが。実際、中東遠地域ではそのような病院に行かれている方も多くいるデータが出ています。しかし、近年は目覚ましい医療の進歩により、がん治療における薬物療法・放射線治療の役割が増し、外来で行う治療の比重が高まってきました。普段の生活と治療を両立する上で、「通いやすい病院」という選択は、患者さまにとって一つのメリットになるのではないのでしょうか。

## コロナ禍で進行がんに

私は外科医として38年働き、多くのがん患者さまを治療してきました。この病院に4年半前に着任した時に、この病院はもつとがん治療ができる能力

があり、地理的環境からも、もつとがん治療に力を入れるべきだと思いましたが、今、この思いはますます強くなっています。なぜならばコロナ禍で来院や人間ドックなどの検診を自粛し、治療ができないような進行がんで見つかる患者さまが増えているからです。もつと早く来院され、検査し、適切な治療を受けていたら、治すことができたのにと悔しい思いを感じています。

## 当院のがん治療 ハイがすい！

「コロナ禍において、当院は地域のために、さらに静岡県のために多くの感染者の治療を行っています。当院をコロナ病院のように思っている方もいらっしゃるかもしれませんが。しかし当院は感染症だけではなく、がん診療においても能力がある病院です。そのことを評価していただき、2020年4月に『地域がん診療連携推進病院』に指定されました。現在はさらに上の『地

域がん診療連携拠点病院』を目指しています。

当院では中東遠圏域で唯一、全身のがんの診断に有効なPET/CTを有しています。また手術支援ロボット「ダヴィンチ」をいち早く導入し、前立腺がんの手術を多く行ってきました。今年の4月からはダヴィンチでの直腸がん手術のスペシャリストが着任し、4月から10件以上の直腸がん手術を行っています。今後は胃がんや子宮がんの手術にもダヴィンチを使用する予定です。また難治性の皮膚がんの一種である悪性黒色腫の手術と抗がん剤治療のスペシャリストである皮膚科医師が静岡県立静岡がんセンターから着任し、今では全県から悪性黒色腫の患者さまが来院されています。放射線治療機器も優れた機種を導入していますが、今後はさらに高い機能を持った機器に更新する予定です。



▲手術支援ロボット「ダヴィンチ」

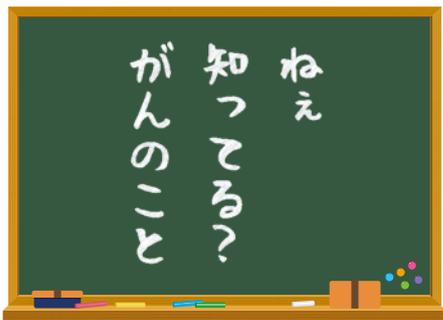
## がん患者さまのサポート体制も充実

がん診療においては緩和ケアも大切です。当院には、がん相談支援センターや緩和ケア外来があり、がんと診断されたその日から患者さまやご家族へ様々なサポートを提供できる体制を整えています。また、がんの治療から早期に回復できるように術後早期から

リハビリテーション専門の医師によるリハビリを行っています。退院後も、近隣の病院やクリニックと連携し、在宅での治療も多くのの方々に対して行っています。

### 人間ドックをご利用ください

がんは早期発見が大切です。当院では人間ドックでの予防医療にも力を入れています。がん診断に有効なPETがん検診や腫瘍マーカーを用いた検診を行い、がんを早期に発見し、治療できるよう努めています。当院の人間ドックでは多くの方は2時間ほどで検診が終わります。どうぞご利用ください。



### コピーミスを生まれたがん細胞

そもそも「がん」とは何でしょう？

私たちの体には約37兆個の細胞が

あります。そしてその細胞が分裂を繰り返し、古い細胞から新しい細胞へ入れ替わることで、健康な体を保っています。しかし、細胞分裂をするときにコピーミスが生じることがあります。このコピーミスが原因で生まれた細胞が、がん細胞です。そして、異常な働きをするがん細胞がかたまりとなって「がん」になります。

若い人に比べ高齢者ががんになりやすいのは、年を重ねることでコピーミスが体内に蓄積されたり、細胞を正常に保つ免疫力が低下したりするからだとされています。

### がんは不治の病ではありません

テレビやインターネットで有名人ががんになり、闘病の末、亡くなったというニュースやドラマでがんになった登場人物が亡くなるシーンを目にするところがあると思います。がんは死ぬ病気だというイメージがあるかもしれませんが、生涯でがんにかかる確率は、日本人の2人に1人と言われるくらい、がんは身近な病気です。しかし、早期発見、早期治療ができれば、今までどおりの生活に戻ることができ、がんになった人の5年生存率は60%以上と言われています。がんは、命に関わる病気です。

が、不治の病ではないのです。

### 最近のがん治療

がん治療には3本柱があり、「手術」、「薬物療法」、「放射線治療」のことを指します。以前は、手術が治療の中心でしたが、最近では抗がん剤などの「薬物療法」や「放射線治療」も目覚ましい進歩を遂げ、これらを組み合わせる治療をすることもあります。また、がん治療というと入院のイメージが強い方もいるかもしれませんが、現在では、日帰りで治療を行うことも増えてきました。がんの治療方法はそれぞれです。がんになったからと言って仕事を辞める方ばかりではありません。今までの通りの生活を送りながら、治療をする方も増えています。当院では、地域の皆さまが住みなれたこの場所ですぐと闘えるよう、がん診療に力を入れています。

国立がん研究センター  
がん情報サービス



詳しく知りたい方へ

## 当院のがん治療 診療科の取り組みをプレイバック

国立がん研究センター  
がん情報サービス  
vol.90

新たな医療機能が加わりました  
— 皮膚がん診療センター —

皮膚がん診療センターは、皮膚がんの診断・治療に特化した診療科です。最新の医療機器を導入し、患者様の負担を軽減し、治療効果を高める取り組みを行っています。

皮膚がん

国立がん研究センター  
がん情報サービス  
vol.99

がんと闘う 住みなれたこの場所で  
同じ思いの— 子宮体がん 腹腔鏡手術治療 —

腹腔鏡手術は、小さな切開で手術を行うことで、患者様の負担を軽減し、回復を早めることができます。当院では、最新の医療機器を導入し、手術の精度を高め、患者様の安全と安心を確保しています。

子宮体がん

国立がん研究センター  
がん情報サービス  
vol.100

がんと闘う 住みなれたこの場所で  
新時代の治療 手術支援ロボットで前腸がん手術

手術支援ロボットは、医師の操作で手術を行うことで、手術の精度を高め、患者様の負担を軽減することができます。当院では、最新の医療機器を導入し、手術の精度を高め、患者様の安全と安心を確保しています。

直腸がん

国立がん研究センター  
がん情報サービス  
vol.101

がんと闘う 住みなれたこの場所で  
地域の患者さまに最適な放射線治療

放射線治療は、がん細胞を壊滅させる効果があります。当院では、最新の医療機器を導入し、治療の精度を高め、患者様の負担を軽減しています。地域の患者さまに最適な治療を提供しています。

放射線治療

今までの  
きんもくせい  
こちらから



がん相談支援センター長  
なかがわ ほなみ  
中川 穂波

緩和ケア認定看護師  
さくらい なおこ  
櫻井 尚子



# がんと診断された その日から

がんは日本人の2人に1人になる病気、不治の病ではない。いくらそう言われていても、がんと診断されたとき、とても不安な気持ちになるでしょう。

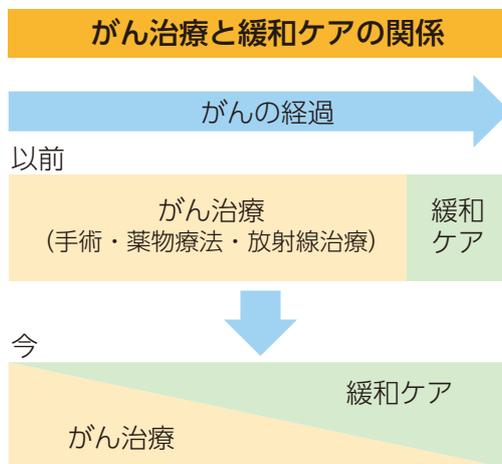
当院では、がんを治療するために、手術や薬物療法、放射線治療を行っていますが、患者さまやご家族の不安な気持ちやつらさに寄り添うための取り組みも行っています。

今回は、がん相談支援センターの中川センター長と緩和ケア認定看護師の櫻井看護師に話を聞きました。

## 駆け込み寺がん相談支援センター

がんと診断されたとき、多くの患者さまやご家族は大きなショックを受け、気持ちが悪くなります。このような気持ちになるのはいたって自然な反応です。「これからどうしたらいいのだろう。」「何でがんになってしまったのだろう。」「家族には何と伝えればいいのだろう。」「お金はどうしよう。」「...」。医師からがんと告げられ、患者さま自身が気持ちの整理がつく前にこれからの治療のことや生活のことなど、重要な決断を短期間に次々に行わなければなりません。

がん相談支援センターは言ってみれば、駆け込み寺です。人と話すことで自分の状況を受け入れることができ、気持ちの整理ができていきます。まずは、あなたの悩みや気持ちをがん相談支援センターでお話ししてみませんか？



## がんと一緒に生きていく

日本人は悪い物Ⅱがんと根こそぎ排除しようと思う人が多く、がんと上手く付き合おうとすることができている方はかなりありません。がんに対して戦闘態勢で立ち向かい、勝つか負けるかという思いでつらい治療に耐え忍んでいきます。しかし、考えてみてください。病院でがんと告げられる前の昨日と告げられた後の今日では、がんが自分の身体の一部であることに変わりはないのです。がんを患者だと思わずに、上手に付き合っていくことが大切です。

き合い、一緒に生きていきましょう。

あなたはこれからの人生をどのように過ごしてみたいですか？がんを治療することは目的ではありません。「あなたが望む生活を送ること」「これが目的です。がんの治療は、自分がこれからやりたいことをやるために行うものなのです。

## 緩和ケアは末期になってから…？

緩和ケアと聞くとどのようなイメージを持ちますか？終末期の医療というイメージがあるかもしれませんが、そうではありません。緩和ケアは、がんが進行してからだけでなく、がんと診断されたその日からいつでも受けることができます。

がんになると、身体のこと、治療のこと、仕事のこと、家族のこと、将来のこと…いろいろな不安やつらさを経験します。緩和ケアは、がんに伴って起きる身体と心の痛みを和らげ、患者さまとご家族が「自分らしく」過ごせるように、継続的に支えていくケアです。

緩和ケアでは、身体のこと、精神的なことから、社会的なことから、様々なつらさに対して、医師や看護師、薬剤師、栄養士、臨床心理士、理学療法士と言ったいろいろな職種がチームとなっ

てサポートします。緩和ケア外来では、身体的な症状はもちろん、精神的なつらさにも焦点をあてて診療をしています。日本では、医療用麻薬に対して、「依存性がある」「最後の手段」という誤った捉え方をしている方が多いとされています。麻薬中毒のイメージから、使用を敬遠し、痛みを我慢してしまう方も少なくありません。がんによる痛みがあり、そのために医師から処方された医療用麻薬を使用するときは、依存や中毒はありません。寿命を短くするわけでも、終末期だから使う薬でもありません。がんによる痛みは多くの人が経験する症状ですが、医療用麻薬はがんの痛みに対してとても有効です。

### 見た目の不安にアピラランスケア

がんやがんの治療によって、髪が抜ける、爪や皮膚の色が変わる、手術の傷あとや身体の一部の形が変わってしまうなど、外見が変化することがあります。外見が変化することで、周りの目が気になる、人と会うのが嫌になったり、自信がなくなったりといった見た目の不安に対するケア「アピラランスケア」も行っています。脱毛のための医療用ウィッグ、爪の変色を目立たなくするマニキュア、乳がん手術後のブラジャーや

パッドなどを紹介しています。医療用ウィッグや乳房補整具には自治体からの補助もありますので、ご相談ください。



▲爪の変色を目立たなくするマニキュア

### 一人で悩まないで

身近な人に自分の気持ちを話すことができていますか。がんのつらさを医師に伝えられていますか。患者さまの中には、医師に自分の気持ちを伝えられず、置いてけぼりになってしまう方もいます。余計なことを言ってしまう患者だと思われるたくない、良い患者かもしれません。そのようなときは医

師との架け橋にもなります。また、就労支援相談も行っています。このほか、患者さまだけではなく看取り後のご遺族のケアも行っています。家族に自分の弱みを見せたくない、そんな方もいらつしやるでしょう。家族には言えないこと、医師には言えないことでも、何でもお話ししてみてください。「そんなことを私たちに言わないで。」とは言いません。あなたと一緒に問題を解決していきます。相談を断ることはありません。

今はインターネットや本でたくさん情報を得ることができます。しかし、一人で抱え込んでしまうと先が見えなくてつらくなってしまう。その情報が自分に全て当てはまるわけではありません。医療は日々、向上しています。最新の治療や栄養に関する情報もお伝えすることもできます。

どうか一人で無理をしないで、つづけてしまう前に、がん相談支援センターへご相談ください。

### がん患者会「ぬくもりの会」

当院では、患者さまやご家族同士が集まり、がんの悩みや体験などを語り合い交流できる「ぬくもりの会」を開催しています。同会は同じ境遇の方々が集まり話したり、励まし合ったりすることで、孤独感を和らげ、自分らしい生活を送ることを目的としています。他の人の思いや体験を知り、自分の体験を話中で、自分の気持ちを整理するきっかけになればと考えています。がん患者さまとご家族を対象にどなたでもご参加できます。

感染症対策の一環としてWEB版「ぬくもりの会」も始まっています。



◀「ぬくもりの会」について詳しくはこちら



### がん相談支援センター

受付：午前8時15分から午後4時まで  
(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)  
対象：がん患者さまやご家族だけでなく、どなたからのご相談でもお受けしています  
場所：1階 がん相談支援センター  
(D外来手前の③化学療法室の扉を開けてすぐ)  
相談方法：電話、面談  
問合せ：がん相談支援センター 0537-28-8159 (直通)  
※予約は不要ですが、お待たせしてしまう場合があることをご了承ください



◀カウンターの上のボタンを押してください。相談員がお伺いします。

# 令和2年度決算・経営指標実績

## 1 令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の決算

### (1) 収益的収入及び支出（税込）

（単位：千円）

科目	予算額	決算額	執行率(%)
病院事業収益	18,360,697	18,967,240	103.3
医業収益	15,257,119	14,648,990	96.0
医業外収益	2,824,605	4,032,024	142.7
特別利益	278,973	286,226	102.6
病院事業費用	18,203,006	17,721,722	97.4
医業費用	17,159,633	16,721,369	97.4
医業外費用	740,063	711,810	96.2
特別損失	298,310	288,543	96.7
予備費	5,000	0	0.0

※「収益的収入及び支出」とは、経営活動に伴って生じた収益（主に診療報酬）と費用（主に人件費、材料費、委託料などの経費、減価償却費）のことです。

※令和2年度純損益（税抜後の収支）は、1,230,796千円の利益ですが、コロナ関連の補助金の2,509,588千円を引くと、約13億円の赤字となります。

### (2) 資本的収入及び支出（税込）

（単位：千円）

科目	予算額	決算額	執行率(%)
資本的収入	1,067,062	1,031,516	96.7
企業債	85,000	24,000	28.2
負担金	675,812	696,490	103.1
補助金	299,798	303,554	101.3
貸付資金返還金	6,452	7,472	115.8
資本的支出	1,684,665	1,660,401	98.6
建設改良費	515,684	501,760	97.3
企業債償還金	1,165,441	1,155,461	99.1
投資	3,540	3,180	89.8

※「資本的収入及び支出」とは、施設や設備の改良工事や医療機器等の整備など投資的な収入と支出で、将来の経営活動の基礎となるものです。収入は主に市負担金や補助金、企業債、支出は主に企業債の償還や医療機器購入費、看護学生への奨学金です。

### (3) 企業団が借りているお金（単位：千円）

借入内容	借入残高
企業債	15,838,231

（令和3年3月31日現在）



## 2 経営指標実績

科目	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
入院	入院診療単価	円	63,188	65,723	71,989
	延入院患者数	人	158,667	151,964	130,916
	1日あたり患者数	人	435	415	359
	病床利用率	%	86.9	83.0	71.7
	平均在院日数	日	9.8	9.7	9.0
外来	外来診療単価	円	13,790	14,751	15,510
	延外来患者数	人	303,010	290,167	269,787
	1日あたり患者数	人	1,242	1,209	1,110
救急	救急外来延受診者数	人	20,550	18,656	13,489
	救急搬送件数	件	6,228	5,718	4,782
	救急車・ホトライン応需率	%	97.5	96.6	95.9
	手術件数	件	4,718	4,922	5,005
	分娩件数	件	570	542	399
	人間ドック受診者数	人	11,806	12,276	11,091
連携	紹介率	%	81.7	82.1	83.2
	逆紹介率	%	101.5	103.2	103.7
財務	医業収支比率	%	95.7	94.5	88.4
	経常収支比率	%	100.6	97.6	107.1

厳しい経営状況ですが、将来にわたり地域医療を守るため、持続可能な健全経営に力を注ぎます。

## 募集 病院ボランティア募集

未経験の方でも大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。  
 ※感染状況によって、活動を制限することがあります。

### 活動内容

- ・院内の案内
- ・車いすの介助
- ・院内デイケアの補助
- ・環境美化作業

### 参加条件

- ・月2回以上活動できる方（1回2時間程度）
- ・心身ともに健康な方

### 応募・問合せ

管理課 施設庶務係  
 電話0537-21-5555（代）



◆詳細は当院ホームページをご覧ください。



## 第35回 医療市民講座のご案内

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、開催方法等が変更になる場合があります。

入場料無料

定員 100名（予約制・先約順）

**日時** 令和3年11月27日(土)  
 午前10時～正午(受付9時30分～)

**場所** 当院 3階 大会議室

**申込み** 10月18日(月)～11月26日(金)  
 ホームページ専用フォーム、または問い合わせ先へ電話、FAXのいずれかにて。

**演題** ①「視機能を維持しよう  
 ～人生100年時代に向けて～」  
 宇佐美 貴寛 医師(眼科診療科長)

②「知ってるようで知らない『手』の話」  
 石井 久雄 医師  
 (整形外科診療部長兼手外科センター長)

**問合せ** 経営戦略室  
 電話:0537-21-5555(代)  
 FAX:0537-28-8971(代)

◆詳細は当院ホームページをご覧ください。



## 東海アクシス看護専門学校 令和4年度入学生募集(一般入学試験)

**募集人数** 看護学科(修業年限3年) 推薦・社会人入学試験と合わせて60人

**出願期間** 令和3年12月1日(水)～12月17日(金) 午後5時15分必着

**出願方法** 直接又は郵送(簡易書留)

**試験日** 令和4年1月7日(金) 学科試験、適性検査  
 令和4年1月14日(金) 面接試験  
 令和4年1月31日(月) 面接追試験(該当者のみ)

**合格発表** 令和4年2月8日(火)

**問合せ** 東海アクシス看護専門学校 総務課入試担当  
 TEL:0538-43-8111 FAX:0538-43-8122  
 〒437-0033 袋井市上田町267-30



◆詳細は同校ホームページをご覧ください。



## ● 医師異動のお知らせ ●

### 9月30日付 退職

循環器内科 岩脇 友哉  
 外科 川合 亮佑  
 外科 長谷川 琢哉  
 整形外科 小早川 晃範  
 耳鼻いんこう科 近藤 玄樹

### 10月1日付 採用

呼吸器内科 太田 智陽  
 外科 日比野 貴文  
 外科 茂野 佐弓  
 整形外科 落合 聡史  
 耳鼻いんこう科 池羽 宇宙  
 臨床研修センター 飯田 景子  
 臨床研修センター 古澤 眞  
 臨床研修センター 寺島 聖詞

今までありがとうございました

よろしく申し上げます

## 9月の診療実績

	1日あたりの患者数	
	入院	外来
	330人	1,126人
紹介率	76.9%	
逆紹介率	95.2%	
病床利用率	65.9%	
平均在院日数	9.2日	
手術件数	402件	
救命救急センター受診者数	1,127人	
救急搬送件数	395件	

■受付時間：午前7時45分～11時00分

■診療時間：午前8時30分～

■緊急手術や学会等への出席のため、急に休診となる場合や担当医師が変更となる場合があります。

2021年10月11日情報

Table with columns for department (e.g., 整形外科, 内科), date (e.g., 月, 火), and doctor names. Includes a 'お知らせ' (Notice) column on the right with specific details for each department.

※(初):初診、(再):再診、(予):予約、(紹):紹介 ※午後は予約のみ